

各書店 児童文化・日本教育史・子ども社会学 ご担当者様

いつもたいへんお世話になっております。鎌倉の版元・港の人の4月中旬の新刊のご案内です。

何とぞよろしくご注文くださいますようお願いいたします。*すべての取次からご注文が可能です（JRC 経由）

発売 港の人 〒248-0014 神奈川県鎌倉市由比が浜 3-11-49 電話 0467-60-1374 FAX0467-60-1375

近代の「児童文化」の理念と実態を明らかにした、本文 864 頁の力作 / 4月中旬発売

かとうおさむ
加藤理 著

「児童文化」の誕生と展開

大正自由教育時代の子どもたちの生活と文化

別冊複製2 『小鳥の家』後藤隆編輯発行 / 『赤い実』金野細雨編輯発行

ISBN978-4-89629-294-7 菊判上製本貼函入 / 864 頁 / 定価 12960 円（本体 12000 円 + 税）

◎「児童文化」とは何か？ 本書は近世後期から、明治、大正、昭和初期と、埋もれていた当時の資料を
発掘して、壮大なスケールで多岐にわたって詳細に論証し、近代の「児童文化」の理念と実態を明らか
にした、本文 864 頁の画期的な力作。

◎本書はおもに 3 部構成。「第 1 部 近代の子どもの文化と「児童文化」の誕生」

◎第 II 部では「児童文化」が誕生した頃の、仙台市で展開された児童文化活動の全貌を明らかにしていく。

◎第 III 部では、大阪や函館の児童文化活動について報告。また農村などの学校をまわって、児童文芸誌や
学用品を販売した児童文化業者の存在に光を当てるなど、これまで知られることのなかった「児童文化」
の諸相を浮き彫りにする。

◎巻末には、詳細な「児童文化関連事項年表（明治元年～昭和 8 年）」を掲載。附人名・事項索引。

◎別冊複製として、“幻の雑誌”といわれる後藤隆編輯発行の『小鳥の家』（創刊号、大正 12 年 4 月）、宮
城県の児童文化業者・金野細雨が編輯発行した『赤い実』（昭和 2 年 7 月）の 2 冊を収録。

■著者紹介

加藤理◎かとう・おさむ

1961 年、宮城県仙台市生まれ。文教大学教育学部教授。博士（文学）。『消費社会と子どもの文化』共編著、2010 年、学文社、『叢
書 児童文化の歴史』全 3 巻、共編著、2011～12 年、港の人、『ポスト三・一一の子どもと文化—いのち・伝承・レジリエンス』
共編著、2015 年、港の人ほか

ご注文 申込書	貴店名・帖合	注文数	港の人 電話 0467-60-1374 FAX0467-60-1375
			「児童文化」の誕生と展開 大正自由教育時代の子どもたちの生活と文化 別冊複製2 『小鳥の家』『赤い実』 加藤理著 菊判 / 上製本 / 864 頁 定価 12960 円（本体 12000 円 + 税）
		冊	ISBN978-4-89629-294-7 C3037 ¥12000E

ご注文は JRC へ FAX 03-3294-2177

*返品条件付き注文扱い